

## 米国国立公文書館本館，米国国立公文書館サンフランシスコ分館，スタンフォード大学フーバーアーカイブの利用の手引

三輪，宗弘  
九州大学附属図書館付設記録資料館

<https://doi.org/10.15017/20111>

---

出版情報：九州大学附属図書館研究開発室年報．2010/2011，pp.56-64，2011-08．Kyushu University Library  
バージョン：  
権利関係：

## 報告

# 米国国立公文書館本館，米国国立公文書館サンフランシスコ分館， スタンフォード大学フーバーアーカイブの利用の手引 —米海軍アタッシェ報告，タンカーの石油輸出データ， 真珠湾攻撃査問委員会資料，ホーンベック文書を中心に—

三輪 宗弘<sup>†</sup>

### <抄録>

日米石油貿易に関する資料を所蔵する文書館の利用ガイドである。米国国立公文書館本館所蔵の米海軍アタッシェの報告書は領事報告書にも匹敵する情報源である。

<キーワード> 米国国立公文書館本館，米国国立公文書館サンフランシスコ分館，スタンフォード大学フーバーアーカイブ，米海軍アタッシェ報告，米海軍武官報告，真珠湾攻撃査問委員会，ホーンベック文書，RG38，RG165，RG128，RG457，RG181

## Research Guide for National Archives in Washington, DC(NARA), National Archives at San Francisco and Hoover Archives at Stanford University —U.S.Naval Attache Reports on Japanese Oil Tanker Movements, Some Records on Pearl Harbor Investigations and S.K. Hornbeck Papers relating to Petroleum for Japan—

Munehiro MIWA

### 1. はじめに

本稿は筆者が平成22年12月から翌年1月にかけてワシントンDCとサンフランシスコで二週間行った資料調査の概要である。筆者は米国国立公文書館Ⅱに何度も足を運んでおり，初めて訪問する方や慣れていない方には利用の手引となり，筆者の資料の検索の仕方が少しでも若い院生や初めて海外調査に行く研究者に資料を捜す一助になればと考え，筆を走らせた。前号の『九州大学附属図書館研究開発室年報』で紹介した米国国立公文書館Ⅱの資料請求の仕方が，本館や各地域にある分館でもほぼ同じような手続きや請求の仕方である。

米国国立公文書館本館 NARA 所蔵の米海軍アタッシェの資料は超一級資料で様々な項目やテーマごとに世界各国で調べ上げている情報の宝庫である。バインダーになった紙の目録とCDに収められたデジタルの目録がある。この二つの検索手段の併用が効果的である。

筆者が精力的に閲覧したのは，米海軍が米国出港と日本接岸時のタンカーを一隻一隻丹念に調べ，日本がどの程度アメリカから石油を輸入しているのかに関する報告書である。帝国議会での液体燃料をめぐる政策

議論，技術，生産量，海軍関係予算も逐一アタッシェから報告がなされている。

筆者が今回調べたのは石油関係であるが，海軍軍縮と言う切り口もあれば，軍艦建造という切り口もある。地域や国別でいえば，ロシア，ドイツ，中国，イギリスもある。これらの国の石油生産量や技術水準などもある程度推測できる。英語が読めれば，ロシア語ができなくても，ロシアなどに関する相当な情報入手できる。世界各国に散らばった米海軍アタッシェの報告書は領事報告書にも匹敵する情報源である。

デジカメ撮影する方がいいのか，コピーするのかがいいのかはケースバイケースであるが，筆者はコピーする場合のほうが多い。時間がない時にはデジカメ撮影するが，重要なものはコピーするようにしている。パソコンに打ち込むのはこれはすぐに使えと思った資料である。無駄なようでも，経験則で，打ち込んだ資料は論文で重要な論点の核となる場合が多いからである。

ある程度慣れてくれば勘が働き，またアーキビストとも懇意になり，事前にメールで問い合わせたりして，効率よく作業が進む。小生は何度も失敗を繰り返し，今では比較的スムーズに資料を特定し，閲覧している。

<sup>†</sup> みわ むねひろ 九州大学附属図書館付設記録資料館 E-mail: miwa3@lib.kyushu-u.ac.jp

米国公文書館Ⅱの資料検索のノウハウは、今回訪問した米国国立公文書館本館 NARA や米国国立公文書館サンフランシスコ分館でも存分に応用できた。

また数年ぶりに訪問したスタンフォード大学フーバーアーカイブでも Stanley K. Hornbeck Papers を閲覧したが、こんないい資料があったのか、なぜ見落としていたのだろうと思うものもあった。米国国立公文書館Ⅱで眺めた資料を補強する資料が多々あり、資料を使い込んでいるうちに問題意識が変遷し、違う角度から問題をとらえているのだろう。

## 2. 米国国立公文書館本館 (NARA)



写真1 National Archives NARA の研究者入口 (Pennsylvania Ave.に面する)

### 2.1. 閲覧

米国国立公文書館本館(National Archives and records Administration)は NARA と呼ばれている。国立公文書館Ⅱがあるのだから国立公文書館Ⅰと呼べばいいのに、NARA が正式の略称のようだ。住所は 700 Pennsylvania Ave. NW Washington, DC 20408 である。

Pennsylvania Ave に面した入口から入館し、荷物検査を受ける。それが終わったら名前と入館証番号などを記入する。直進して Research Center Lobby に入り、左折し進めばロッカールーム G14。ここでカバンやコート、上着を入れる。Finding Aids Room は G28。G28 のスタッフに一声かけると、アーキビストかスペシャリストを紹介されるので、相談しながら、レコードグループと箱番号を特定して、その番号を Reference Service Slip に書き込んで請求する。Stack Area 等の配架場所の特定はスタッフが調べて記入する。自分で配架番号も書かなくてはならない、アーカイブⅡと異なる資料請求の仕方である。箱は 21 個まで請求できる。大量にコピーをした場合には、少しずつスタッフのチェックを受け、グリーンバック (セキュリティバックとも呼ぶ) に入れてもらうのが、早く退館できるコツである。(前号を参照のこと)

Casher は G30 の部屋である。コピーの入金や領収書の発行はここであるのが簡明。手書きの領収書も発行してくれる。

#### 2.1.1. RG38(米海軍武官報告 1940 年以前のもの)

RG38 の資料は 1940 年までが NARA で保管し、1941 年以降が米国国立公文書館Ⅱに所蔵されている。RG38 の中にある海軍アタッシェの文書 (1940 年以前) は NARA にある。世界中の情報が集められており、面白い資料がある。

いわゆる「RG38 and ONI Reports」である米海軍武官の報告書の中で、筆者が閲覧したのは日本関係しかも石油関連のものであったが、世界各国の様々な分野を網羅的に調べている。きわめて利用価値の高い資料である。領事報告に匹敵する情報量である。エン트리番号 E#97 と E#98 に Naval Attaches' Reports がある。(エントリー番号単位で目録が作成されているので、エントリー番号は極めて大切である。)

以下小生のメモからの抜粋である。現物を見ながらでないと分からないかもしれないが、参考に供す。目録から拾ったものである。

- 07-563 E-10-a: Coal for Delivery Enroute to the Orient 1907
- 08-572 E-10-b: Oil Fuel and Wells in Japan 1908
- 3958-A E-10-d: Fuel Oil in Japan 1919-20
- 13177 E-10-d: Oil Fuel Situation in Japan 1920-22
- 11398 E-8-a: Method of Studying the Japanese Language 1919 日本語のできる米国人の名簿あり。
- 12225 C-10-j: Japanese Anti-American Propaganda in China
- 111510-A C-10-i: Chinese-Japanese Relations 1919
- 11574-A C-10-i: Japanese Activity in China 1919-20

RG38 Records of the Office of Naval Intelligence Intelligence Division Naval Attache Reports, 1886-1939 E-10-d (番号は 12229 から 13792a まで入っている)

エントリー E#98 以下は実際に Box を請求し、資料を読み、複写したもの。

Box769: この箱に収められた下記のフォルダーは面白い。

E-10-d register No. 13177-I: Oil Fuel Situation in Japan 1938-39-41-43

E-10-d register No. 13177-H: Oil Fuel Situation in Japan 1936-37, 1944

アタッシェの燃料関連の報告書は、他にも管見の範囲で以下の folder 番号にもある。

13177-E 13177-F 13177-G 13177-D 13177-C

Box763 (配架場所 38/10W4/10/5/3)

416 英海軍が石油を燃料に転換した背景.

Box764 (配架場所 38/10W4/10/5/3)

563 1 頁だけ

109 石炭の荷揚げ設備 (世界各地 写真あり).

192 時間なく飛ばす. 後日チェック

Box766

E-10-C Reg2527 米国の石油調査

3727 石油が燃料として使われ始めたころの調査

E-10-d Register No. 13601: Fuel Oil Supply in China 1917-1922: 中国の石炭や石油の補給に関するもの.

**2.1.2. RG128: Records of the Joint Committee on the Investigation of the pearl Harbor Attack, 79th Congress (1945-1946)**

RG128 (真珠湾攻撃査問委員会の一つ) は米国国立公文書館本館 NARA にある. 2階の閲覧室にチェックリスト Checklist of RG128 “Joint Coms” : Preliminary Inventory of the records of the Joint Committee on the Investigation of the pearl Harbor Attack, 79th Congress (1945-1946)が配架されている. コピーも取ることができる. この目録の一斑を紹介する. 筆者は目録のコピーを始めから終りまでコピーした.

Appendix D

Exhibit No.41

901 pilot message

902 14-part message

907 1 o'clock delivery message

910 code destruction messages

Exhibit No.1: Diplomatic Messages

Exhibit No.17~20: Modus Vivendi, FDR message to the Emperor

Exhibit No.75: Ten Points Note

Exhibit No.98: Stimson's memo of Nov. 26

RG128: Joint Committees of Congress 79th Congress (Senate) on the Pearl Harbor Investigation Exhibits of the Joint Committee

Box365 : 41, 36 Box366 Box 363 : 17, 18-1,19 Box334 は見ず.

**2.2. 米国国立公文書館Ⅱの真珠湾査問委員会関係資料**

次の3つのレコードグループの資料は国立公文書館Ⅱに所蔵されている真珠湾攻撃査問委員会関係の資料である. 真珠湾攻撃査問委員会に関係しているので, まとめて付記する. 前号の『九州大学附属図書館研究開発室年報』で詳しく米国国立公文書館を紹介したので, 参照されたい. ここは真珠湾攻撃査問委員会関連ということで, 触れる.

日本の図書館でも「真珠湾攻撃査問委員会」に関しては下記の本ではほぼすべての基本的な資料にあたることのできる. WEBCAT で調べると 50 ほどの大学図書館が所蔵している. 筆者が若き日々に通った防衛研究所戦史部図書館にも所蔵されている.丸善が復刻版「真珠湾攻撃・公聴会記録」を刊行しており, かなりの大学図書館が所蔵している.

Investigation of the Pearl Harbor attack: Report pursuant to S. con. res. 27, 79th Congress, a concurrent resolution to investigate the attack on Pearl Harbor on December 7, 1941, and events and circumstances relating thereto, and additional views of Mr. Keefe, together with minority views of Mr. Ferguson and Mr. Brewster / Washington, U.S. Govt. Print. Off., 1946.

現物を読むのはまた違った意味で迫力があり, 新たな発見がある. 8 種類の公式の査問委員会が立ちあげられているが, 今回は小生が眺めたものだけ掲げた. 時間がなくパラパラ見ただけ.

**2.2.1. RG165(Army Pearl Harbor Board)**

RG165:Records of the War Department General and Special Staffs (米陸軍の 1944-45 年の査問の記録である Army Pearl Harbor Board)

エントリー番号 E#:UD37(配架場所 390/40/14/7)に陸軍のパールハーバー関係の資料がある. UD37 のチェックリスト (目録) はないので, 丹念に箱を請求して開いていくしかない.

**2.2.2. RG38(ONI の 1941 年以降のもの)**

RG38: Radio Message Intercepted WW II

E# AI 344: Intercepted Enemy Radio Traffic

Box2662: 11 月 1 日から 12 月 31 日であるが 12 月上旬はない.

Box938-952: 日本海軍の Gasoline と Fuel 関係の通信が完璧に解読されている. 海軍燃料廠に関するものまできれいに分類され整理されている. これでは勝負にならない. 米海軍の諜報能力のものすごさがわかる.

**2.2.3. RG457 の諜報関係資料**

RG457 : record of the national security agency/ central security service historic cryptographic collection, pre-world war I through world war II (Venona 資料も RG457 にあり, 諜報関係の様々な資料から構成されている.)

日本の暗号解読は海軍, 陸軍, 外務省等. 電波を傍受するところがあり.

E#:9032 (457/190/37/21/7 資料閲覧請求の Slip にこの番号を書く必要がある. 457 は Stack を意味し, 190 は Area のこと)

Box717: section 5 Hawaii section は電波傍受基地のこと.

Box718: station 1 Station 2 など

Box719: Station 4 Panama など

E#9007 Box18:SRH-04: 佐藤駐露大使の外交電がマーシャルへ報告されている。SRH-043 も後日チェックすること。

E#9032 (457/190/37/22/2) : Historic Cryptographic Collection, Pre-World War I through World War II

Box735 Box729 Box730

Box729: 12月の電文の中から12月6日前後の記録がない。3つのフォルダーとも。

Box730: 11月10日と11月26日の電文を丁寧に解読している。Walker-野村会談とハルノートに関する報告。Box729にはない12月6日から8日がある。どの電文に対応するのか、特定が全くできない。

これで米国国立公文書館Ⅱの真珠湾査問員会関連資料の補足を終わる。

### 3. 米国国立公文書館サンフランシスコ分館

#### 3.1. アクセス

サンフランシスコ国際空港からは市内行きのBartに乗り、一駅乗車してSan Bruno駅で下車する。巨大なモールであるTanforan Shopping Centerを突き抜ければEL Camino Real通りである。EL Camino Real通りに沿って走るSamTransバス(391番はBartのSan Bruno駅まで入る。390番はBartのSan Bruno駅には入らずEL Camino Real通りを通る)を利用した場合には、Tanforan Shopping Centerが見えたら(通り過ぎたら)バスを降りればよい。2ドル。ラッシュアワー時は本数が多いが、そうでないと1時間に2本。43番バスは乗り場が違うので、ホームページで確認されたい。390番と391番バスの乗り場であるが、ガソリンスタンドがあるので、そのバス停(写真3の標識)から乗ればよい。ガソリンスタンドに売店が隣接しているので、時間待ちが長い時にはそこで時間をつぶせばよい。

高級マンションを左手にしてCommodore Dr.を直進し、突きあたり正面左の建物がアーカイブ。入口はフェンスに沿って左に200メートルほど歩き、右折して100メートル。

EL Camino Real通り沿ってホテルが林立しているので、宿泊するホテルには困らない。SamTransバス390番と391番でEL Camino Real通りをバスで移動すればよい。バスの時刻表とルートは下記のホームページにある。

[http://www.samtrans.com/system\\_map.html](http://www.samtrans.com/system_map.html)

[http://www.samtrans.com/pdf/Schedules/Route\\_390\\_04-10-11.pdf](http://www.samtrans.com/pdf/Schedules/Route_390_04-10-11.pdf)

[http://www.samtrans.com/pdf/Schedules/Route\\_391\\_04-10-11.pdf](http://www.samtrans.com/pdf/Schedules/Route_391_04-10-11.pdf)



写真2 San Francisco 国際空港と Bart の駅 (San Bruno と Millbrae)

Cal Train は Millbrae 駅で乗換え。



写真3 バス乗り場の標識 (390 は Palo Alto と Daly City を結ぶ)



写真4-1 San Bruno 駅と EL Camino Real 通りの間に  
ある Tanforan Shopping Center の看板



写真 4-2 Tanforan の Food court 右から出ると  
Bart の San Bruno 駅



写真5 National Archives at San Francisco の入口

### 3.2. 閲覧

スタッフの説明を受ける。ロッカーにカバンを入れ、パソコンとデジカメを持って閲覧室 (Reading Room) に入る。ワシントン DC の国立公文書館で使用する Research Card (入館書) はここでも通用する。ルールはほとんど米国国立公文書館Ⅱと同じだが、受付の方の向き合うように座らなければならない。箱は顔の正面に置いてはいけない。面白いローカルルールだ。開館時間は7時半から4時(水曜日は5時半)まで。

どのような資料群が所蔵されているかに関しては Guide to Records in the National Archives-Pacific Sierra Region, Compiled by Larisa K. Miller & Nancy Malan, 1995 にコンパクトにまとめられている。この冊子を読めば、どのような RG (レコード・グループ) が所蔵されているかわかる。100 ほど RG がある。米海軍の太平洋岸の各基地や工廠等の他に、例えば日系人などの移民の資料や裁判記録もあるようだ。

今回筆者が閲覧したのは、太平洋方面の米海軍各基地 (ハワイ、グアム、テニアンなど) の資料である RG181:Records of Naval Districts and Shore establishments であるが、finding aids は複数あるものの、慣れてないせいもあるかもしれないが、渉らなかつた。エントリーE#38 だけは充実していた。閲覧室のチェックリストを眺めたが、わかりづらい。アーキビストに相談しながら何を資料請求するのか試行錯誤する必要がある。

コピーは現金カード。コピー枚数はコピー機がカウントすることになっているので、スタッフにコピーする旨伝えること。最後の日に纏めて決済することができる。Confidential な機密種類に関しては、解除のステッカーを張ってコピーするが、国立公文書館Ⅱとは異なり日付やスタッフのサインは不要である。ミスコピーは料金から差し引いてくれる。スタッフは親切。スキャナーで資料を取る場合は、USB を持参する必要がある。スキャナーは閲覧室に備え付けられている。この場合は無料。おそらく将来電子化して公開するた

めに無料にしているのだろう。ビデオカメラが回っている。

以下2011年1月に3日間訪問した時の小生の走り書きのメモから抜粋。主に日米石油貿易関係資料(タンカーの石油の輸送)のリストである。

ハワイ真珠湾は14海軍軍区にあたる。日本のタンカーがハワイに停泊すると、石油の積載量・乗組員・航行先などを逐一レポートされている。

Slip の請求番号: 14th ND Headquarters, Pearl Harbor Commander's Office Correspondence 1912-1941 Boxes 38-39(配架場所 RG181 Compartment 3052 Shelf E)

RG181 エントリーE#47

Box37

EF37/A4-5(2) Japan: 海軍のタンカーに関する情報、乗組員

Box 38

Folder: EF37: Japan 中国情勢, 石油の購入, 日米関係

Folder: EF37-①: Japan 1927年の日中関係, 中国情勢, 1920年の日本経済

Folder: EF37(2): Japan(2) Intelligence Reports (1932 - 1935)

Folder: EF37(3): Japan

Folder: EF37/A45(1) Japan Ship Movement 浅間・磐手の写真, タンカー 石油貿易

Folder: EF37/A45(2) Japan タンカー

Box39

Folder: EF37/Qs1-Japan Merchant Marine :船舶に関するデータや荷物に関するデータ. 航海の記録などあり。

Slip の請求番号: RG181 12ND Accn#181-58-3206 Boxes S-407, S-408 (配架場所 RG181 RG181 Compartment 3102 Shelf J)(以下 RG181 E#58-3206 Box 407 Box408 と書く)

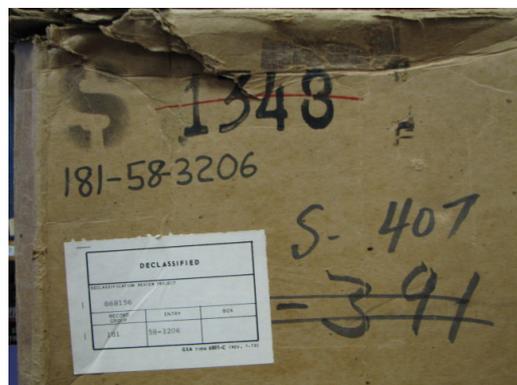


写真 6-1 RG181 E#58-3206 box 407



写真 6-2 RG181 E#58-3206 box 408 ボロボロの段ボール箱

#### Box408

Folder: L21/JJ7-JJ14/EF37 Shipments of Commodities to Japan (1) 1928 年の石油輸出力

#### Box 407

Folder: A9-1/ND12/EN3-4 -Forn#9-a” Oil and gasoline Supply” (12), 1928 年の 12 地区の石油供給 (油種別, 会社別)

Folder: L24/L21/FE37/JJ-51P8-Exports of certain commodities to Japan, 1927 年の石油輸出力

この箱の中に Report of Surrender and Occupation of Japan(A16-3/FF12 Serial: 0395, 11 February 1946 J.H. Towers)が紛れこんでいた。まさにラッキーである。米海軍が極東全体の中で日本占領をどのように位置付けていることがわかる超一級資料であった。

### 3.3. 食事について

Tanforan Mall の 1 階の Food Court (写真 4-2) がよい。Bart の San Bruno 駅側である。EL Camino real 道路に沿って、アジア系の食堂がたくさんある。韓国料理、ベトナム料理は脂っこくなくてよい。Sneath Ln.通りに面し、こちら側にもモールがあり、Chase 銀行も隣接。同行でアメリカンエクスプレスのトラベルチェックは手数料なしでドル紙幣に換金できる。このモールにも食べる場所がある。

### 3.4. ホテルの情報

サンフランシスコ国際空港 (SFO) の近くの、EL Camino Real 通り沿ってチェーンホテルがたくさんある。Expedia などのホテルサイトで探すのがよい。カードで決済となるので、為替レートや TAX も勘案して、申し込むこと。Expedia のホテルのレーティングはホテル選択の際の有力な情報源である。レーティング 5 段階で評価が高く、割安なのは狙い目。特に冬場は時折格安なオファーが突然出るの、ネットで価格を時折チェックするとよい。

2011 年 1 月に僕が宿泊したのは Howard Johnson

Express Inn San Bruno であったが、推奨できる。バス停 (390 番 391 番 43 番) はすぐそば。無線ラン、電子レンジ、コーヒーポットがあり、朝食もよかった。SFO 空港からの送迎も無料。ホテルに電話すれば、バスが迎えにくる。岐路もホテルから SFO 空港まで送ってくれる。



写真 7-1 ホテル送迎バス乗り場 (Hotel Courtesy Shuttles) 国際線ターミナルから乗るのが無難。ホテル直通の電話を掛けることができる。



写真 7-2 これを見て迎いのバスに乗り込む。委託業者がバスを運行しているようだ。

## 4. スタンフォード大学フーバーアーカイブ

### 4.1. アクセス

サンフランシスコ国際空港 (SFO) からは Bart に乗って Millbrae (ミルブレ) 駅 (時間によっては San Bruno 駅を経て Millbrae 駅へ) で Cal train に乗り換える。Cal train の切符の買い方であるが、One-Way を選択して、次に行き先の駅のゾーン番号を選択し、入金すればよい。乗ったら車掌が回ってきてチェックする。車内では買えないので、要注意。Palo Alto 駅へ。Caltrain は昼間の時間帯は本数が少ないので、Millbrae (ミルブレ) 駅から SanTrans の 390 番バスに乗ってスタンフォード大学までいくのもよいが、時間がかかる。



写真 8-1 Cal train の切符販売機  
Zone①から⑥を先ず確認。



写真 8-2 San Bruno と Millbrae と Palo Alto がわかればよいが、快速が増えているので停車駅に注意を要す。昼間は本数が少ない。夕方 5 時、6 時は本数が多い。

Palo Alto 駅からは Marguerite (学内バス) で移動する。歩くと 30 分はかかる。Hoover Tower を目指す。正面左側に Hoover Institute Library and Archives があるが、入口を探すのには一苦労する。

Marguerite B の時計回り (Clockwise)、運転手に Hoover Tower へ行きたいと言えば、親切にアドバイスしてくれる。Hoover Tower が右手に見えたところで、多くの人下車する。(Line B Clockwise runs to and from the Palo Alto Transit Center by way of Town & Country Village, Tresidder, the Medical Center, and Stanford Shopping Center) 帰りは Line B Counter-Clockwise に乗ること。詳しくは下記のホームページで確認すること。地図はプリントアウトして持参。時計回りか反時計回りか確認すること。スタンフォード大学の学内バスは充実している。

<http://transportation.stanford.edu/marguerite/MargueriteSched.shtml#map>

<http://transportation.stanford.edu/pdf/marguerite-map.pdf>



写真 9 Marguerite 乗り場は Palo Alto 駅に隣接している。運転手に聞くのが簡明。写真は A-LINE の学内バス。A-LINE でも Hoover Tower に行ける。



写真 10-1 ここから入り、階段を下り、ドアを出て左がフーバーアーカイブの入口 (写真 10-2)



写真 10-2 ここがフーバーアーカイブの入口。初回訪問時はここまでたどり着くのは一苦労するだろう。



写真 10-3 フーバーアーカイブの閲覧室. 蒋介石日記もここで閲覧.

#### 4.2. 閲覧

入館に際して、画面に住所とホテルの滞在先を書き、大学名を入れ、入館証を作成する。黄色のプリントアウトに直筆でサインをする。ロッカーに荷物を入れる。ボールペンは持ち込み可。持ち込むメモ用紙は入館時に「NON-ARCHIVAL」と朱印を押す。デジタルカメラでの撮影が2011年1月から許可されたとのこと。100枚までコピー（撮影）が可能で、それ以上は300枚までコピー申請すれば許可がおりる。一つの文書単位で1年間に合計400枚コピーが許可されている。コピー機は一台しかないのので、デジカメで撮影が許されたのは助かる。

#### 4.3. Stanley K. Hornbeck Papers

Stanley K. Hornbeck Papers のチェックリストは黒のバインダーにある。下記のホームページで約600箱の概要がわかる。

<http://cdn.calisphere.org/data/13030/xn/xf3779n5xn/files/xf3779n5xn.pdf>

今回は石油関係の3箱 Boxes: 338-340を紹介する。2011年1月は1日しか時間が取れず、Box340は時間切れであった。どの箱もいい資料だと改めて痛感した。

**Box338:** folder Petroleum: General が4つもある。

①1934年, 1935年からある。満洲の石油独占の話

②1940年の国務省メモ 1940-8-22 新聞記事

G.S. Walden Standard Vacuum Oil Company Philo Parker A. Hiss タイへの石油輸出

③戦時中の記録 1942年3月16日の Japanese Oil Position 再占領

④1941年8月から12月までの記録

**Box339**

Folder: petroleum: Monopoly, Japanese

Folder: Petroleum: Japan and Netherlands East India  
1942年 森島守人総領事の日本揮発油の石油プラント交渉関係

Folder: Petroleum: Standard Vacuum Oil Company が三

つある。1940-12-10の契約関係

**Box340**

Folder: Petroleum: Standard oil offices, Discussions with1034-36.

#### 4.4. スタンフォード大学周辺のホテル

Expedia などのホテルサイトにネットでアクセスされたい。EL Camino Real 通りに沿ってホテルは林立している。EL Camino Real 通りに沿って走る「VTA バス22」は本数も多く、深夜も運行されている。このバスが便利なので、ホテルの選択肢はかなり広がる。

<http://www.vta.org/>

[http://www.vta.org/schedules/pdf/bus\\_rail\\_map\\_a.pdf](http://www.vta.org/schedules/pdf/bus_rail_map_a.pdf)

Cardinal Hotel は Palo Alto 駅徒歩3分の中級ホテルである。値段は少し高いが、初めてスタンフォード大学に行く教員にはお奨めできる。大学院生は最初の日の1泊だけにして、EL Camino Real 通りに沿った格安ホテルを探すのがいいと思う。

235 Hamilton Avenue , Palo Alto ,California 94301

電話: 650-323-5101

FAX: 650-325-6086

[mail@cardinalhotel.com](mailto:mail@cardinalhotel.com)

<http://www.cardinalhotel.com/>

#### 4.5. 食事

学内で一番近いのは Graduate School of Business の地下にある Cafe—Bon—Appetite で、朝飯・昼飯にありつける。7:30AM から 2:00PM まで開いていて、Lunch は 11:00 から 2:00 まで。またここは24時間オープンである。裏手の Meyer Library の正面右手にも学生食堂がある。

Palo Alto 駅周辺の University Ave に沿ってレストランがある。ピザ屋 Pizza My Hart は本などを読んだり、手紙を書いたりできるありがたいピザ屋だ。値段も安くお薦めのピザ屋だ。スターバックスコーヒーは朝5時から営業しているが、時差でどうしても早く目がさめる。朝ごはんを食べながらメールをチェックした。



写真 11 Palo Alto 駅近くのピザ屋

Palo Alto 駅近くの古本屋に Bell' Books がある。親切なお店で、日本にも送ってくれる。その場合 Tax なし。ピザ屋の近く。

536 Emerson St. Palo Alto, CA 94301

WWW.BELLSBOOKS.COM 9:30～5:30 (Fri.5:30～9:00)

以上、若い研究者がこの手引きを参照し、アーカイブに到着するや否やすぐに資料を請求して閲覧できることを念じながら、筆を置く。

## 付記

ハミルトン大学の Ted Lehmann 准教授に資料がある事をご教示いただき、そのことが今回の資料調査につながった。記して感謝したい。

新しい情報は下記のホームページで確認ください。時折更新する。

[http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/rstaff/item\\_3890.html](http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/rstaff/item_3890.html)

[http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/rstaff/item\\_3900.html](http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/rstaff/item_3900.html)

[http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/rstaff/miwa\\_6.html](http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/rstaff/miwa_6.html)

2011年4月1日からフーバーアーカイブに関して以下の変更が行われた。

- ①コピー枚数の制限が撤廃された。
- ②マーガレット B が Line X (反時計回り) Line Y (時計回り) に名称変更された。
- ③フーバーアーカイブまでマーガレット P も利用できる。